

事業所名

ケイジンピアスペースなかごみ

支援プログラム

作成日

2025年

1月

15日

		社会医療法人恵仁会は 命を大切にし 地域の皆さまの生活を支える保健・医療・福祉を目指します `安心と安全に もっと24時間の愛情を`					
支援方針		ケイジンピアスペースなかごみでは、ご利用者が地域社会で安心・安全・に生活を送りながら地域活動、参加ができるように 5領域 (① 健康・生活 ②感覚・運動 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性) の視点を含めた個別支援計画を作成して計画に基づいた総合的な支援をおこなっていきます。					
営業時間		8 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	来所時の健康チェック(検温)と利用中の健康観察・利用時間に合わせた集団や個々に応じたスケジュールに沿った規則正しい活動・1日の生活リズムや行動を確認し、在宅の生活につながる支援・食事、トイレ、入浴、着替えなど、生活の中で「自分で出来る動作」をスモールステップで獲得できる支援・好きなことや興味のあることを行い、友達と一緒に過ごしたり、1人で集中できる時間を持つ・緊急時の対応を確認しスタッフ間で周知していきます。					
	運動・感覚	麻痺などによる関節拘縮が強くなるようストレッチ、ポジショニングを行う・マット運動や公園遊び等で個人に合わせた感覚入力、調整を行い、落ち着いて行動することに繋げる・食事、移動、トイレ、入浴など身の回りの生活動作を確認し、「阻害要因となっている身体の機能の向上」「現状の身体機能に合わせた動作方法の説明」「必要に応じた福祉用具の提案」などを行います。					
	認知・行動	過ごし方の流れをカードなどで視覚化し、見通しを持った活動が行える・困っている時や何か行いたい時に、自分から言葉やカードなどで伝えることができる・イライラした時の対応方法を一緒に話し合う(アンガーマネジメント)・困った時、イライラした時、テンションが高くなりすぎてしまった時に自分の考え、気持ちを客観的に捉えられるよう話をし、一緒に対応方法を相談し、実践していきます。					
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちが伝えられるような端的な言葉を説明、実践・声の抑揚や表情、行動から、伝えたいことを把握し代弁し、個人の能力に合わせ、カード、身振り、筆談などで対応する・発音が聞き取りにくい、発声しにくい場合は言語聴覚士による評価、支援を行います。(言語聴覚士の評価は長期休みのみ)					
	人間関係 社会性	集団活動や遊びの中で「ルールを守る」「順番を待つ」「準備を手伝う」「後片付けを行う」などの社会性の確認、実践・相手の気持ち、立場になって考えられるよう相談し、対応方法を一緒に考える・人との距離感が近い場合、適切な距離感について話し合い、行動できるよう支援します。地域施設での利用(公園や公共施設など)などを通じて社会性を身につけていきます。					
家族支援		ご家族の「困りごと」に対しての相談を行い、具体的な方法を提案します。また、提案のみでなく、家庭内・学校など生活場面で実施できるよう希望に合わせて訪問も行っています。			移行支援		学校卒業後など将来を見据えた関わりを行います。移行期では、個人の特性を踏まえた支援方法や予後予測などの情報提供を行います。
地域支援・地域連携		ご家族、相談支援員、学校の先生、医療関係者の方々と情報を共有し、支援目標や方法の統一などを図っています。具体的な方法の提案をさせて頂く場合もあります。			職員の質の向上		年に2回以上、事業所内研修で障がいについての学習会の実施 外部研修報告を事業所内でその都度共有をはかります 年6回権利擁護・虐待・身体拘束についての学習会の実施
主な行事等		季節に合わせた屋外活動や、イベント活動を実施しています。					